



■発行/都会メディカルケアシステム 渡辺 康介
■編集/地域広報委員会 京都市北区大宮南田尻町59番地
■ホームページ/https://www.miyakokai-kyoto.com/
■お問い合わせ/ Jf1@miyakokai.or.jp

理念
■患者様・ご利用者様の立場にたったキュア(医療)・ケア(介護)を提供いたします
■医療・介護・福祉を通して地域、社会に貢献いたします
■職員の質の向上をはかります



池田 チエさん 97歳
生年月日 大正9年10月23日生まれ



デイサービスセンターつるさんかめさん
センター長 藤井 洋靖

つるさん

皆さんこんにちは。デイサービスセンターつるさんかめさんセンター長の藤井です。つるさんかめさんは定員20名の通常規模型デイつるさんと、定員12名の認知症対応型デイかめさんの2つの事業所で営業しています。私はこの西賀茂地域の農家に生まれ、育ってきました。幼い頃から友人と泥だらけになって遊んできましたので、昔に比べ減ったとは言え、田畑が残るこの地域が大好きです。

さて私達、医療介護の業界は時代の流れや取り巻く環境の変化に對して、その都度変化を求められています。近い将来に迎えるであろう超高齢化社会に向けてそのスピードはさらに加速されると思われまます。翻って京都に沢山ある神社、仏閣や美術品の数々は数百年、千年を越えてもその素晴らしさゆえに現在でも沢山の人々を魅了し、私の家業である農業も機械化が進んだとは言え、気候、季節に合わせて作物を育てる点は昔から変わりません。

すなわち、「変わらなければならぬもの」「変わらなくても良いもの」をしっかりと見定める判断力がこれからの私達には必要だと考えます。そして、その判断力を培う為のキーワードは「地域」だと思ひます。皆さんのお住まいの地域でも、その地域ごとに歴史や地域資源、人のつながりがあると思ひます。他者のお手伝いが必要になつても「住み慣れた地域で生活できる」ことは当法人の理念でもあります。ご利用者が安心して過ごして頂けるお手伝いをこれからも頑張りたいと思ひついでいます。

昔と比べると、横のつながりが希薄な時代となり、残念な報道も聞かれる現代ですが、孫子の時代もこの素晴らしい「地域」が続くよう、スタッフとして、また地域の住人として皆さんと共に歩んでいきたいと思ひついでいますのでどうぞよろしくお願い致します。

ワンポイント講座

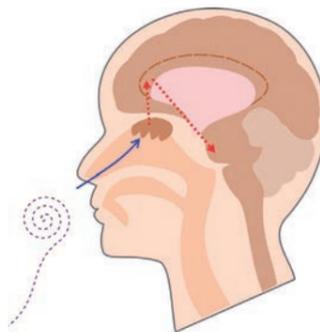


Rose geranium

アロマ(芳香)は認知症改善・予防になる?

訪問看護ステーションにしがも 塩崎 曜子

香りを嗅いで、ああ懐かしいなと古い記憶が蘇った経験はないですか?例えば、よそのお家にお邪魔して田舎のお家の匂いと似ていたりすると、祖母や祖父を思い出したり、美味しい匂いがしたら、これは何のお料理かと考えをめぐらしたような経験は誰にもあります。私たちは何かに触れると、まずそれが熱いもの冷たいものかなど、それがどんなものを頭でまず認知してからそれが好きかどうか



ど情動的判断をします。それは視覚や聴覚でも同様の事が言えます。けれど嗅覚だけは、瞬時に好き嫌いを嗅ぎ分ける事の出来る感覚と言われております。

昨今では、『物忘れよりも先に嗅覚が衰える』^{※1}という発表もあり、匂いを嗅ぐことで、衰えてきた脳を活性化して認知症の改善・予防に繋がるともいわれています。レモンやみかんの香りはスッキリして食欲の増進に繋がると言われていますし、お花の匂いは幸せな気持ちにしてくれますね。食事の時も、匂いを意識する事でより食事を楽しめます。また、嗅覚が低下していると思われる方も、香りを嗅ぐ事で改善する可能性があります。毎日の生活の中で、少し香りを意識してみませんか?

※1 参考文献「アロマの香りが認知症を予防改善する」
著作 浦上 克哉

クロスワード「答え」

1	イ	ナ	ハ	レ
2	マ	ル	ゴ	シ
3	カ	セ	イ	フ
4	カ	ミ	ン	モ
5	グ	シ	ツ	ト

セミシグレ(蝉時雨)



葛まんじゅうレシピ

葛まんじゅう 5個分

〈材料〉

- 葛粉 50g
- 砂糖 30g
- 水 300ml
- こしあん 120g



〈手順〉

- 1.こしあんを5等分に丸める
- 2.プリンカップまたは小さめのお湯のみにラップを敷く
- 3.葛粉、砂糖、水を全て鍋に入れて火にかける前に木ベラで溶かし混ぜる
- 4.強火で絶えず鍋底をこすり混ぜ合わせる
- 5.透明になるまで混ぜる
- 6.ラップを敷いた型に適量の葛を入れ丸めた餡を入れ、最後に隠すように葛をかける
- 7.巾着型に絞り、冷やして完成



日常の風景

デイサービス つるさんかめさん

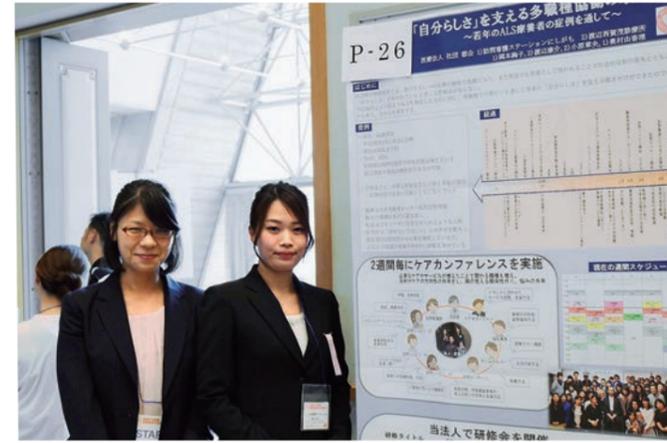
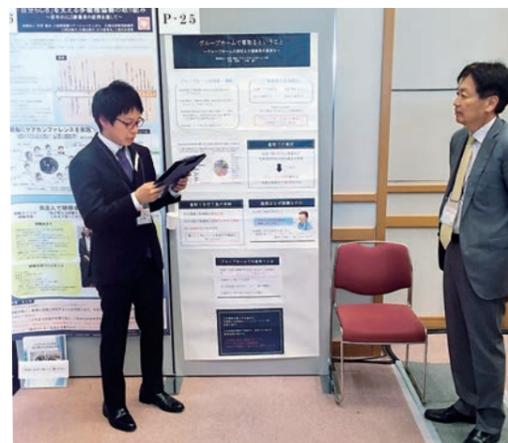


研修報告

訪問看護ステーションにしがも
岡本 絢子

先日京都国際会館で行われた第2回全国在宅医療医歯薬連合会全国大会にて、「自分らしさ」を支える多職種協働の取り組み」という題名でポスター発表を行うことができました。病状の進行とともに仕事の継続が困難となったり、家庭でも患者として扱われることで「自分らしさ」が失われていくと感じる方は少なくないと考えます。今回は「自分らしさ」を支えることをテーマに、一人のALS療養者の症例を通して、2週間毎に実施しているケアカンファレンスでの多職種連携や、

この方を講師として開催した研修会などの活動報告をしました。今回の発表を通して「自分らしさ」とは何かを見つめ直し、周囲の理解や支援の重要性を改めて感じるものが出来ました。今後、様々な方との出会いがあるかと思いますが、お一人お一人の生き方や想いを捉え、その人らしさを大切にしたい関わりをしていきたいと考えます。また学会では様々な講演や発表を聴くことができ、多くの学びを得ることもできました。今回の学びをこれからの看護に活かし、皆さまへ還元できるように日々精進して参りたいと思います。



- 9 やさませちゅもじっ
- 8 うたたね
- 6 お手伝いさん
- 4 無防備
- 3 上天気。曇りのち〇〇
- 1 鯛ほらの若かりし頃
- 8 筆筒、水屋、本箱など
- 7 山の裾野
- 5 お玉杓子が泳ぐ?紙
- 3 端居、と書く夕涼み
- 2 雷神
- 1 一家団欒の部屋
- へたてのカギ
- へたてのカギ



1	2		3		E
4		5			C
	6		A		7
8			B		
		9			
					D

「クロスワード」
出題 小田 正
「問題」
A～Eをつなぐと答えです